

令和5年10月31日

水稲作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

収量調査

品種名	全重 (kg/a)				わら重 (kg/a)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
つがるロマン	167.5	165.5	101	176.5	75.3	70.9	106	77.4
青天の霹靂	155.5	161.2	96	167.5	77.6	79.8	97	84.0
まっしぐら	168.3	171.0	98	181.8	76.4	77.8	98	86.4
はれわたり	165.4	-	-	181.2	79.6	-	-	89.9

品種名	精粳重 (kg/a)				しいな重 (kg/a)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
つがるロマン	86.7	82.4	105	85.1	0.6	0.9	67	1.1
青天の霹靂	74.5	74.1	101	74.4	0.3	0.2	150	0.2
まっしぐら	86.6	84.3	103	84.4	0.7	0.8	88	0.9
はれわたり	80.8	-	-	79.6	0.5	-	-	0.6

品種名	粗玄米重 (kg/a)				屑米重 (kg/a)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
つがるロマン	69.8	67.1	104	69.0	2.7	2.8	96	3.8
青天の霹靂	59.7	60.3	99	60.0	0.9	2.4	38	2.7
まっしぐら	69.1	68.1	101	67.9	2.0	2.3	87	3.7
はれわたり	64.5	-	-	64.8	1.4	-	-	3.6

品種名	精玄米重 (kg/a)				玄米千粒重 (g)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
つがるロマン	67.0	64.3	104	65.3	22.8	23.1	99	23.6
青天の霹靂	58.7	57.8	102	57.3	22.7	22.8	100	22.6
まっしぐら	67.1	65.8	102	64.2	23.0	23.1	100	23.2
はれわたり	63.0	-	-	61.1	22.3	-	-	22.8

注1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

2) 耕種概要 播種日：4月14日、移植日：5月19日（4本手植え）、栽植密度：21.2株/m<sup>2</sup>  
 施肥 (kg/a)：「つがるロマン」0.4+0.2（追肥日7/16、幼穂形成期7日後）

「青天の霹靂」0.35+0（無追肥）

「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/13、幼穂形成期8日後）

「はれわたり」0.5+0.1（追肥日7/13、幼穂形成期8日後）

3) 平年値は「つがるロマン」が2007年以降(16か年)の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降(8か年)の平均値、「まっしぐら」が2007年～2008年および2011年以降(14か年)の平均値。

4) 「はれわたり」は前年値のみ記載。

5) 精玄米重及び玄米千粒重は、粗玄米を1.9mmのふるいで選別した値。

【概況】

「つがるロマン」は、全重は平年並で、わら重が平年より重く、精玄米重は平年比104%とやや多収であった。また、玄米千粒重は平年並であった。

「青天の霹靂」は、全重及びわら重は平年よりやや軽く、精玄米重は平年比102%と概ね平年並であった。また、玄米千粒重は平年並であった。

「まっしぐら」は、全重及びわら重は概ね平年並で、精玄米重も平年比102%と概ね平年並であった。また、玄米千粒重は平年並であった。

「はれわたり」は、全重及びわら重が前年より軽く、精玄米重は前年比103%とやや上回った。また、玄米千粒重は前年並であった。

令和5年10月31日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

登熟調査

品種名	株当たり穂数（本）				m <sup>2</sup> 当たり穂数（本）			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
つがるロマン	21.0	19.8	106	19.0	446	419	106	403
青天の霹靂	19.4	19.4	100	17.9	412	411	100	380
まっしぐら	22.0	21.0	105	19.8	466	446	104	420
はれわたり	22.1	-	-	19.4	469	-	-	411

品種名	1穂粒数（粒）				m <sup>2</sup> 当たり粒数（×100粒）			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
つがるロマン	79.2	78.3	101	89.6	353	328	108	361
青天の霹靂	69.2	66.0	105	73.1	285	272	105	278
まっしぐら	74.1	73.0	102	83.4	346	326	106	350
はれわたり	68.9	-	-	78.4	323	-	-	322

品種名	有効茎歩合（%）				枝梗別粒数割合（%）			
					1次枝梗		2次枝梗	
	本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
つがるロマン	59.0	65.6	-6.6	66.8	57.8	56.2	42.2	43.8
青天の霹靂	65.3	69.8	-4.5	69.8	65.5	65.7	34.5	34.3
まっしぐら	61.5	67.0	-5.5	62.5	60.3	55.7	39.7	44.3
はれわたり	63.9	-	-	70.9	68.8	66.1	31.2	33.9

品種名	登熟歩合（%）							
	1次枝梗 + 2次枝梗				1次枝梗		2次枝梗	
	本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
つがるロマン	83.1	85.6	-2.5	76.4	92.2	92.4	70.6	56.0
青天の霹靂	90.6	93.4	-2.8	91.2	92.8	94.5	86.7	84.6
まっしぐら	84.1	88.4	-4.3	78.9	92.2	91.1	72.4	63.6
はれわたり	87.5	-	-	83.1	91.7	91.4	78.2	67.0

品種名	不稔歩合（%）							
	1次枝梗 + 2次枝梗				1次枝梗		2次枝梗	
	本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
つがるロマン	4.6	3.9	+0.7	5.7	3.1	2.6	6.7	9.8
青天の霹靂	4.7	3.2	+1.5	3.6	4.1	3.2	5.6	4.4
まっしぐら	5.0	3.2	+1.8	4.2	4.2	2.9	6.2	5.8
はれわたり	3.9	-	-	4.8	3.4	3.8	4.9	6.7

注1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

- 2) 耕種概要 播種日：4月14日、移植日：5月19日（4本手植え）、栽植密度：21.2株/m<sup>2</sup>  
 施肥（kg/a）：「つがるロマン」0.4+0.2（追肥日7/16、幼穂形成期7日後）  
 「青天の霹靂」0.35+0（無追肥）  
 「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/13、幼穂形成期8日後）  
 「はれわたり」0.5+0.1（追肥日7/13、幼穂形成期8日後）

3) 平年値は「つがるロマン」が2007年以降（16か年）の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降（8か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年～2008年および2011年以降（14か年）の平均値。

4) 「はれわたり」は前年値のみ記載。

令和5年10月31日

## 水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

### 【概況】

「つがるロマン」は、1穂籾数は平年比101%と平年並だが、 $\text{m}^2$ 当たり穂数が同106%と多かったことから、 $\text{m}^2$ 当たり籾数は同108%と多かった。登熟歩合（1次枝梗+2次枝梗、以下同様）は83.1%で平年を2.5ポイント下回った。

「青天の霹靂」は、 $\text{m}^2$ 当たり穂数は平年比100%と平年並だが、1穂籾数が同105%と多かったことから、 $\text{m}^2$ 当たり籾数は同105%と多かった。登熟歩合は90.6%で平年を2.8ポイント下回った。

「まっしぐら」は、1穂籾数は平年比102%と概ね平年並だが、 $\text{m}^2$ 当たり穂数が同104%とやや多かったことから、 $\text{m}^2$ 当たり籾数は同106%と多かった。登熟歩合は84.1%で平年を4.3ポイント下回った。

「はれわたり」は、 $\text{m}^2$ 当たり穂数は前年より多かったが、1穂籾数が少なかったことから、 $\text{m}^2$ 当たり籾数は前年並であった。登熟歩合は87.5%で前年を4.4ポイント上回った。

令和5年10月31日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

粒厚分布調査

品種名	年次	玄米粒厚別重量歩合 (%)						
		～2.2	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6～
つがるロマン	本年	22.6	50.9	17.2	5.5	1.9	1.1	0.9
	平年	15.8	45.0	27.0	8.0	2.2	1.0	0.9
	前年	18.7	54.2	16.2	5.5	2.1	1.6	1.7
青天の霹靂	本年	31.8	49.6	13.5	3.5	1.0	0.4	0.2
	平年	7.5	47.3	30.5	10.8	2.6	0.9	0.4
	前年	4.8	48.8	31.5	10.4	2.7	1.1	0.7
まっしぐら	本年	25.0	54.2	14.3	3.7	1.4	0.9	0.6
	平年	11.2	47.7	29.0	8.6	2.0	0.8	0.6
	前年	8.8	48.0	29.3	8.5	2.6	1.4	1.6
はれわたり	本年	26.8	51.8	14.9	4.3	1.3	0.5	0.4
	平年	-	-	-	-	-	-	-
	前年	11.8	48.5	25.5	8.6	2.9	1.4	1.3

品種名	年次	重量歩合 (%)
		1.9mm 以上
つがるロマン	本年	96.1
	平年	95.9
	前年	94.6
青天の霹靂	本年	98.4
	平年	96.1
	前年	95.5
まっしぐら	本年	97.1
	平年	96.5
	前年	94.6
はれわたり	本年	97.8
	平年	-
	前年	94.4

注1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

- 2) 耕種概要 播種日：4月14日、移植日：5月19日（4本手植え）、栽植密度：21.2株/m<sup>2</sup>  
 施肥 (kg/a)：「つがるロマン」0.4+0.2（追肥日7/16、幼穂形成期7日後）  
 「青天の霹靂」0.35+0（無追肥）  
 「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/13、幼穂形成期8日後）  
 「はれわたり」0.5+0.1（追肥日7/13、幼穂形成期8日後）

- 3) 平年値は「つがるロマン」が2007年以降(16か年)の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降(8か年)の平均値、「まっしぐら」が2007年～2008年および2011年以降(14か年)の平均値。  
 4) 「はれわたり」は前年値のみ記載。

【概況】

粒厚別重量歩合のピークは、「つがるロマン」、「青天の霹靂」及び「まっしぐら」とも2.1mmで平年並だが、2.1mm以上の重量歩合はいずれも平年を大きく上回り、1.9mm以上の重量歩合は「つがるロマン」が平年より0.2ポイント、「青天の霹靂」が2.3ポイント、「まっしぐら」が0.6ポイント高かった。

「はれわたり」は、粒厚別重量歩合のピークは2.1mmで前年並だが、2.1mm以上の重量歩合は前年を上回り、1.9mm以上の重量歩合は前年より3.4ポイント高かった。

令和5年10月31日

## 水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

### 節間長調査

品種名	年次	生育調査区		節間長				
		稈長 (cm)	穂長 (cm)	第1 (cm)	第2 (cm)	第3 (cm)	第4 (cm)	第5 (cm)
つがるロマン	本年	84.3	19.4	35.2	19.4	16.0	12.0	1.5
	平年	83.6	18.2	33.5	20.3	17.0	10.9	2.0
	前年	85.1	19.1	34.1	21.1	16.9	10.5	2.5
青天の霹靂	本年	79.4	18.8	33.4	18.1	15.5	10.5	1.7
	平年	79.8	17.8	31.2	18.2	16.4	11.3	2.6
	前年	85.2	17.9	31.4	20.2	17.8	12.4	3.3
まっしぐら	本年	81.7	17.6	34.7	18.4	13.7	12.9	1.9
	平年	80.1	17.2	33.1	19.4	15.3	10.5	2.0
	前年	85.3	17.7	35.3	20.9	15.3	11.8	1.9
はれわたり	本年	86.1	16.5	33.1	17.9	17.6	13.9	3.5
	平年	-	-	-	-	-	-	-
	前年	87.9	16.7	32.1	20.7	18.9	13.0	3.1

注1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

2) 耕種概要 播種日：4月14日、移植日：5月19日（4本手植え）、栽植密度：21.2株/m<sup>2</sup>

施肥（kg/a）：「つがるロマン」0.4+0.2（追肥日7/16、幼穂形成期7日後）

「青天の霹靂」0.35+0（無追肥）

「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/13、幼穂形成期8日後）

「はれわたり」0.5+0.1（追肥日7/13、幼穂形成期8日後）

3) 平年値は「つがるロマン」が2007年以降（16か年）の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降（8か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年～2008年および2011年以降（14か年）の平均値。

4) 「はれわたり」は前年値のみ記載。

### 【概況】

「つがるロマン」は、稈長が平年より0.7cm長く、穂長は1.2cm長かった。節間長は、第1及び第4節間は平年より長く、第2～3及び第5節間はやや短い～短かった。

「青天の霹靂」は、稈長が平年より0.4cm短く、穂長は1.0cm長かった。節間長は、第1節間は平年より長く、第2節間は平年並、第3～5節間は短かった。

「まっしぐら」は、稈長が平年より1.6cm長く、穂長は0.4cm長かった。節間長は、第1及び第4節間は平年よりやや長い～長く、第2～3及び第5節間はやや短い～短かった。

「はれわたり」は、稈長が前年より1.8cm短く、穂長は0.2cm短かった。節間長は、第1及び第4～5節間は前年よりやや長い～長かったが、第2～3節間は短かった。